

集団乳がん検診のお知らせ

乳がんは、定期的に検診を受け、早期に発見することで治る可能性が高いがんです。市で実施する集団乳がん検診を次のとおり行いますので、まだ受けられていない方は、ぜひこの機会に受けましょう。

- **日程** / 6月4日(月)、6月18日(月)、7月2日(月)、7月30日(月)、8月6日(月)、8月20日(月)
- **料金** / 40歳代 3,000円、50歳以上 2,800円
- **場所** / 健康増進センター
- **定員** / 各日 30名
- **対象** / 40歳以上(昭和48年4月1日以前生まれ)の女性市民で、昨年度受けていない方
- **申込** / 5月7日(月)から市役所健康課で予約を受け付けします。電話でお申し込みください。

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

41歳の節目の方。ガン検診が無料で受けられます

がんにかかる人は40歳代から増加し始めます。若い世代の方にも一人でも多くがん検診を受けていただくために、下記の対象者に「がん検診無料クーポン券」を配付します。5月下旬に配付予定です。

無料となるがん検診	生年月日
肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日生まれの方

41歳以外の方にも右記の対象者に「検診無料クーポン券」を配付します。症状がなくても無料となるこの機会にぜひ検診を受けましょう。	無料となるがん検診	生年月日
	子宮頸がん	平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの方 昭和61年4月2日～昭和62年4月1日生まれの方 昭和56年4月2日～昭和57年4月1日生まれの方 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日生まれの方
大腸がん・乳がん	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生まれの方 昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生まれの方 昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生まれの方 昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれの方	

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

ポリオ予防接種を受けましょう

ポリオ(急性灰白髄炎)はポリオウイルスによる感染症で、感染すると手足の運動麻痺による後遺症を残すことがある病気です。右記対象者は、ポリオ予防接種を受け予防に努めましょう。

接種者が1日に集中しないよう地区を分けていますが、子どもの体調に合わせて都合のよい日にお越しください。

予防接種を受ける前に、必ず冊子「予防接種と子どもの健康」を読んでください。

対象年齢	生後3か月～90か月(7歳半)未満
接種回数	41日(6週間)以上の間隔をあけて2回接種
接種日	5月14日(月) 九会・在田・西在田・多加野地区 5月22日(火) 富田・賀茂・下里・富合地区 5月31日(木) 北条地区 6月11日(月) 全地区 受付時間 13:00～13:45
接種場所	健康増進センター
接種料金	無料
必要物品	母子健康手帳・予診票(ペンで記入)・体温計

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

加西病院の進んだ医療

■病院ランキング

新聞や雑誌の病院ランキングが盛んです。恐らく一般の人々が進んで知りたい情報の一つなのだろうと思います。このようなランキングで、加西病院は地方病院という背景を考えますと、いつも良いポジションにいます。例えば2012年の週刊ダイヤモンド『頼れる病院』では、本院は県内59病院中21位でした。大学病院や阪神間の大病院を含んでおり、悪くない順位です。加西病院が部外から見ても優れていることを証明しています。

しかし、加西病院の内状を知る方達から、よく、加西病院は優れた医療を行っているのにあまり市民に伝わっていない、と言われます。奥ゆかしいのと宣伝下手なのと、両方が災いしているようです。

■加西病院の先進的医療

今回は加西病院の先進的医療の一端を紹介させていただきます。消化器科では、内視鏡(カメラ)治療が盛んです。胃や大腸の癌切除術まで行います。同時に、致死的となり得る救急疾患である吐血・下血・総胆管結石嵌頓の24時間緊急内視鏡治療を受け入れています。また消化管疾患のみならず肝臓病にも強いのが特徴です。慢性肝炎の抗ウイルス治療や、肝癌のラジオ波治療など専門性の高い治療を行っています。

古くからの看板科である循環器科は、カテーテルを用いた血管形成術が伸びています。心臓の冠動脈治療のみならず、高齢化で多い足の動脈閉塞の治療も増えています。冠動脈拡張術は急性心筋梗塞患者にとって命の掛った分かれ道です。本院は24時間緊急治療を受け入れています。循環器に限らず、全ての医療者は自分の時間を削って市民の命を守っていると言えます。

腹部外科では、傷口が小さく入院期間も短い腹腔鏡手術が

盛んです。腹腔鏡は癌など待機的手術に限らず、虫垂炎や胆嚢炎などの緊急手術でも稀ではありません。本院での癌手術は、質の高い緩和ケアも有ってお勧めです。市民の方々には大都市・大病院志向でなく本院を利用頂きたいと思えます。

眼科は手術手技が先進的です。過去には白内障が主な対象でしたが、現在はもっと複雑な硝子体手術や、先進技術である涙管手術、網膜の血管増殖抑制術まで行っています。遠くの地域からも患者さんが集ってきます。

■活発なチーム医療

上記以外の科においても診療科間の良い協力と高いレベルの医療を行っています。

一方、医師と医療スタッフがチームを組み、感染制御、医療安全推進、栄養サポート、緩和ケア、褥創予防、呼吸サポートなど組織横断的チーム医療が極めて活発です。これらの活動は病院全体の医療レベルのアップに役立っています。看護部が行っている患者さんの病状改善をもたらす“腹臥位(うつぶせ)療法”は全国に知られた活動で、見学の訪問が引きも切りません。

■加西病院を上手に利用しよう

上記のような医療を継続してゆくには市民の皆様の協力が欠かせません。今困っているのは、急性期の入院治療が終了しても退院されず満床で新たな入院を受けられないことや、病状安定して地域かかりつけ医の先生への紹介を受け入れていただけず、医師の力が外来に取られて高度の入院医療に注力できないことなどです。

病院再編統合の時代に加西病院がこの地に残るため、癌手術など本院で受けて頂きたい治療や、病診連携の促進、救急コンビニ利用の抑制など、上手な本院のご利用をお願いする次第です。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

加西病院ホスピタルフェアの「キャッチフレーズ」を募集

7月7日(土)開催の「第9回市立加西病院ホスピタルフェア」のキャッチフレーズを募集しています。

例えば、「地域と共に生きる加西病院」「来て見て感じて加西病院」など、病院に希望すること、応援したい気持ちなどを30字以内で表現してください。フェアでは、医療相談コーナーや健康チェックコーナーのほか、コンサートや講演会の開催を予定しています。



昨年のホスピタルフェア

■ **募集期間** / 5月31日(木)まで

■ **賞** / 最優秀賞・優秀賞(フェア当日表彰)

■応募方法

- ① 病院1階相談コーナーの応募用紙に記入して、受付箱に投函
- ② ハガキにキャッチフレーズ、住所、氏名、年齢、電話番号、病院への思いなどを記入して郵送

■宛先・問合せ

〒675-2393 加西市北条町横尾1-13

市立加西病院フェア実行委員会・委員長 中央放射線科 深田照明 ☎④2200